

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価 計画

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

1 前年度 評価結果の概要	・各評価項目については、概ね達成できた。学力向上や特別支援教育の充実など取り組みが不十分なところについては、見直しをもって改善できるように取り組んでいきたい。 ・生徒が自信をもって「将来の夢や目標を持っている」と回答できるよう、年間を通したキャリア教育の充実に努めていく必要がある。 ・特別な支援が必要ではないかと思われる生徒が通常学級に混在している状況の中、生徒の実態により、関係機関や相談等の他機関などへどのようにつなげていけばよいのかが課題となっている。今後も関係機関や相談等の他機関などとの連携を図りながら積極的な支援を行っていきたい。
------------------	--

2 学校教育目標	志と誇りを胸に、たくましく、心豊かに学び続ける生徒の育成
----------	------------------------------

3 本年度の重点目標	I 確かな学力の育成 ⇒①「学ぶ力」を育成する教師の授業力の向上 ②「学び」をこれからの人生や社会に活かそうとする豊かな人間性の涵養 II たくましい体力の育成 ⇒①食育の充実と健康の保持増進 ②体力・運動能力の向上 III 思いやりの心の育成 ⇒①いじめを生まない土壌づくりと自他を大切にすることの育成 ②ボランティア活動の充実とボランティア精神の育成 IV 生徒指導体制の充実 ⇒①自己指導能力の育成 ②発達支持、未然防止、早期発見・早期対応、再発防止 V 保護者連携・小中連携 ⇒①積極的な情報発信 ②共に育てるという雰囲気醸成
------------	---

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				主な担当者	
(1)共通評価項目											
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価			
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
●学力の向上	○全職員の共通理解のもと、一人一人が表現できる場を設定し、活動することで自分に自信をもち、意欲的に学習に向かう教育活動。	○学習アンケートにおいて「自信をもって表現できるようになった」「自分からすすんで学習に取り組むようになった」と回答した生徒が7割を超える。	・各教科の授業や学級活動の中で、一人一人が表現できる場を設定し、継続的に活動する。		・		・		・	研究主任 学力向上コーディネーター	
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳振り返りシートにおいて「意欲的参加できた」「考えを深めることができた」の項目でAが50%以上。 ○人権集会、同和教育集会の感想において「自分のためになった」と回答した生徒が7割を超える。	・道徳授業づくり研修会の設定 ・人権・同和教育に関する校内研修の実施		・		・		・	道徳教育推進教員 人権・同和教育担当	
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止、対応についての共通理解を図り、発知時に組織的な対応ができていると回答した教職員の割合が80%以上	・学年内での連携を充実させると共に生徒指導部会での情報共有を充実させ、学年間で迅速に対応できる体制をつくる。 ・毎月生活アンケートを実施する。 ・開発的生徒指導を取り入れ、生徒に活躍・決定の場を与え、自己肯定感を育てる。		・		・		・	生徒指導主事	
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した生徒50%以上。 ◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒70%以上	・じぶんログや振り返りシートの中で、一人一人の頑張りのよいところを認めるコメントを書き、自己肯定感を高める。 ・「進路便り」で情報を発信する。 ・定期的に進路アンケートを実施したり、必要に応じて面談を行ったりして、生徒やご家庭の意に適した助言をしながら決定へと導く。		・		・		・	総合的な学習の時間担当	
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	「健康に良い食事をしている」児童生徒80%以上	・生活習慣アンケートの実施する。(運動・生活リズム・食事・安全について) ・毎日の健康観察を行い、自分の健康状態に関心を持つようにする。 ・食に関する取り組み(おにぎり弁当の日)を実施する。 ・生徒会の給食実践部の取組として、給食に使用されている食材について、情報を発信する。		・		・		・	食育担当	
	○体力・運動能力の向上	○「体育大会やクラスマッチなどの体育的な行事で、自分の役割を責任を持って行った」と回答した生徒の割合が80%以上。	・実行委員会形式の体育大会を実施する。 ・体力テストを実施し、昨年の記録との差を確認し、ポイントが低い項目への対策を行う。		・		・		・	体育主任	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・毎週水曜日を定期退勤日とし、部活動指導後は速やかに退勤するように声をかける。 ・学年で計画的に年休が取得できるように翌月の年休取得計画を提出させる。		・		・		・	管理職	
	●年休取得率の向上	●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上。			・		・		・	管理職	
○メンタルヘルス対策	○メンタルヘルス対策	○「心のセルフチェックシステム」であまりストレスを抱えていないという結果の教員が7割以上。	・健康に関する情報提供やストレスチェックの実施、ラインケアの充実を目指す。		・		・		・		
	○発達障害等への理解の向上	○「発達障害等への理解が向上した」と回答した教員の割合が80%以上。	・特別支援教育についての研修会を年に2回以上実施する。その後、アンケートを実施する。		・		・		・	特別支援コーディネーター	
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目											主な担当者
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価			
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
○開かれた学校づくり	○ICTを活用した情報発信	○「学校は情報発信に努めている」と答える保護者の割合を80%以上にする。	・はなまる連絡帳やホームページを活用することで情報発信のペーパーレス化を進める。		・		・		・	情報推進リーダー 学年主任・学級担任 管理職	
○小中連携	○小中連携による共通理解と共通実践	○生徒アンケートにおいて自信をもって発表できると回答する生徒の割合が7割以上。	・小中共通した学級会マニュアルを活用した学級会の実施。 ・校内研の取組や人権・同和教育・道徳教育等の取組、学校行事等と目的をリンクさせる。		・		・		・	管理職 各部会担当	

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志と誇りを高める教育

5 総合評価・次年度への展望	・ ・ ・
----------------	-------------